

総合事業等に関する市町村の取組

福島県小野町

平成29年11月 作成

0

福島県小野町

基礎データ

- 総人口: 10,589人
- 高齢者人口: 3,302人
- 後期高齢者人口: 1,922人 平成29年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口(市区町村別)(総計)
- 高齢化率: 31.1%
- 後期高齢者割合: 18.1%
- 要介護・要支援認定者数: 697人 厚生労働省「介護保険事業状況報告」(H29.1月月報)
- 要介護認定率: 21.1%
- 地域包括支援センター数: 1箇所(委託)
職員数 : 4
職種 : 保健師 1、主任介護支援専門員 1、社会福祉士 1、事務補助 1
- 第6期介護保険料: 5,560円

1

実施しているサービスについて (移行時期:平成28年1月)

訪問型サービスB

通所型サービスB

経緯

郡山医療生活協同組合が組合員向けに行っていたものを、平成26年に町の単独事業として委託することとした。

平成28年1月、新総合事業への移行に伴い、通所型サービスBとして位置づけた。

組合員限定ではない。

なお、町の委託事業となってからは、組合員限定とはしていない。運営は医療生協組合員のボランティアスタッフがやっている。もともとは男性高齢者の閉じこもり予防が目的であった。

サービス内容

訪問B

(1) 高齢者お助けサービス事業

* 経過

先駆けで郡山医療生活協同組合において行っていた事業であり、平成26年度より町の単独事業として始まり、総合事業実施に伴い、訪問B型として事業を実施している。

* 目的

高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう生活支援サービスの充実を図る。

* 実施主体

町 (委託: 郡山医療生活協同組合)

* 対象者

- ・ 65歳以上で町内在住の単身高齢者、高齢者のみ世帯
- ・ 介護認定を受けていない者
- ・ 入院、施設入所は利用不可

* サービス内容

- ・ 外出及び散歩の付添い等 ・ 宅配の手配又は食材の買い物等 (調理除く。)
- ・ 寝具類等大物の洗濯・日干し、クリーニングの洗濯物搬入、搬出
- ・ 庭、生け垣、庭木等家周りの手入れ (特殊な技術を必要としないものに限る。)
- ・ 家屋の軽微な修繕、電気修理等 (特殊な技術を必要としないものに限る。)
- ・ 家屋内の整理整頓 ・ その他必要軽易な援助

* 利用料・回数

- ・ 1時間あたり250円 (利用者負担)、1,500円 (町負担)
- ・ 1回あたり2時間まで (週1回、月4回)

* 現在の利用者 (平成29年7月31日現在)

- ・ 登録人数 66名
- ・ 月の利用者 約45名 (月により変動あり)



サービス内容

通所B

(2) 小野町ミニデイサービス事業

***経過**

先駆けて郡山医療生活協同組合において行っていた事業であり、平成26年度より町の単独事業として始まり、総合事業実施に伴い、通所B型として事業を実施している。

***目的**

地域包括ケアの実現に向けた取組みを目指し、機能訓練などを行い高齢者の介護予防及び通いの場を充実させ人と人とのつながりを通じて継続的に行えるような地域づくりを図る。

***実施主体**

町（委託：郡山医療生活協同組合）

***対象者**

- ・町内在住65歳以上の高齢者（事業対象者）
- ・介護認定を受けていない者

***内容**

- ・受託者により年間スケジュールを作成し、事業を実施。（別紙年間スケジュールのとおり）

***利用料金・実施回数**

- ・1回あたり300円（利用者負担）、2,700円（町負担）
- ・月2回（4月～12月）※老人憩の家「たかむら荘」にて実施。

***現在の利用者（平成29年7月31日現在）**

- ・登録人数 49名
- ・利用人数 約28名（月により変動あり）



今年度実施予定

小野町介護予防委託事業（総合事業）

小野町ミニデイサービス 2017年度 実施予定表

※内容・日程は変更になる場合があります

2017.7.25

月日	午前（専門職等の参加）	午後（レクリエーション等）	専門職等・担当職務等	資格等・氏名
4/11 火	高齢者の歯について	二次予防チェック（始） トランプゲーム	歯科医師	南條芳久
4/22 土	音楽療法（歌唱指導）	二次予防チェック（始）カラオケ	NPO法人のぞみ	平栗喜美江さん
5/13 土	膝・肩・腰の理学療法	おてだま	リハビリ科 訪問リハビリテーション主任	理学療法士・佐原亮
5/27 土	お尻とお尻の穴の話	輪投げ	看護部・看護師	師長室 看護師 七海祥子
6/13 火	暑い季節の過ごし方	かるたとり	介護保険事業部 なのはな施設長	看護師・介護支援専門員 坂本豊子
6/24 土	認知症予防のおはなし	ぬり絵	郡山市三穂田包括支援センター	保健師・加藤千草
7/11 火	介護が必要になった時のお話	ゲーム	郡山東介護保険センター	介護支援専門員 二瓶恵美子・大越真奈美
7/22 土	認知症について	ボーリング	小野町地域包括支援センター	3名（中野・先崎・会田）
8/5 土	高血圧と減塩（すこしお）笑いヨガ	七夕飾り	郡山女子大学	先崎和子准教授
8/22 火	頭と体の両方使った機能訓練	トランプゲーム	介護保険事業部 ひなたぼっこ	ひなたぼっこ施設長・看護師・横田まり子 ふれあいデイサービス・介護福祉士・飯村甲子（かね）
9/9 土	薬と上手につきあう方法	あやとり	薬局・薬剤師	玉川照子
9/26 火	脳トレ	ロコモ体操・おてだま	介護保険事業部 通所リハビリ	
10/7 土	音楽療法（歌唱指導）	ロコモ体操・カラオケ	NPO法人のぞみ	平栗喜美江さん
10/21 土	一般的な目の病気について	ロコモ体操・トランプ	看護部・看護師	
11/7 火	交通事故 サギに合わないために	ロコモ体操・かるた	田村警察署 小野分署	
11/21 火	あなたの骨は大丈夫？	ロコモ体操・ゲーム	看護部・看護師	
12/9 土	尿もれ予防の運動	二次予防チェック（終）	介護保険事業部・リハビリ科・通所リハビリテーション	理学療法士・瀬川大輔・通所リハビリテーション
12/23 土	音楽療法（歌唱指導）	二次予防チェック（終）	NPO法人のぞみ	平栗喜美江さん

How CO-OP
Review and
Research
医療福祉生協連 理論誌

Vol. 11
2017
June

特集 地域支援事業を通じた
住み続けられるまちづくりへの挑戦

巻頭言
混合介護の議論を契機に、訪問介護の役割を問い直そう 02
森山千賀子 白樺学園大学子ども学部家庭・地域支援学科教授

特集解題 03

地域支援事業を地域づくりに活かす

～住民のつながりづくりに着目して～ 04
服部 真治 医療福祉研究機構研究開発部研究員兼研究支援部次長

郡山医療生協小野支部の総合事業への取り組み 08

加藤 友 郡山医療生活協同組合介護保険事業部長

「地域まるごと健康で明るいまちづくり」を住民の手で

総合事業を活用したガーデン大山田の実践 12
平手マリ子 みえ医療福祉生協理事
寺崎 由那 みえ医療福祉生協副理事長

会員生協実践レポート

コープこうべとの事業連携 ～経緯と今後～
るっこう 医療生活協同組合事務局長 森本 浩
にじいろクリニック事務長 川原聡二 16

研究企画連載

医療・介護の質改善に「患者視点のQI」を

いかに活用するか 20
青木 拓也 京都大学大学院医学研究科臨床疫学分野
日本プライマリ・ケア連合学会家庭看護学部・臨床部

日本医療福祉生活協同組合連合会

(1) 事業所の無い地域での支部の活動を町が評価し委託

1) 震災による放射能被害が続く福島県ですが、郡山医療生活協同組合（以後郡山医療生協）は県中央部の郡山市に本部があります。支部は郡山市外にも多くあり、その一つに小野町にある小野支部があります。郡山市の本部からは35キロほど離れており、車で片道ちょうど1時間ほどかかります。小野町は人口約1万人、高齢化率30%の、中山間地にある町です。

2) 郡山医療生協は、120床の病院1つと、在宅を中心とした介護を14事業行っていますが、全て郡山市内に所在し、小野支部に事業所はありません。その小野支部で、支部の組合員が行う、高齢者を支援する活動が小野町から評価され、町が行う介護予防事業として委託されることとなったのが2014年でした。

3) 委託された活動は二つで、一つは介護保険のデイサービスに近い通いの支援、その名も「ミニデイサービス」で、もう一つは訪問型生活支援「お助けサービス」です。なお、「ミニデイサービス」という名称ですが、郡山医療生協のその他の支部での同様の取り組みもミニデイサービスと呼んできましたし、厚生労働省の資料などでも、サロンとは区別する形でミニデイサービスという言葉を使用していますので、介護保険で行うデイサービスの一般的な内容に準ずるもので、介護保険を適用しないものをミニデイサービスと呼ぶのは一般的なようです。

4) ミニデイサービスは町営の温泉施設で開催します。自宅から施設へはボランティアスタッフが自分たちの自家用車で送り迎えます。午前中は郡山医療生協の医療・介護の専門職等が、専門的なプログラムを提供するために片道1時間かけて出向きます。なお昨年度は、地域の専門職等をお呼びする事を増やして地域との結びつきも大切にしています。昼食は、弁当に加えスタッフが手作りの品を提供します。午後は入浴したり企画を楽しんだりして過ごします。

5) お助けサービスは、1回1時間を目的とした生活支援で、掃除や洗濯、買物などを行います。介護保険の訪問介護より制約が少ないため、庭の草むしりや墓の手入れなども対応しています。

一般介護予防事業 地域介護予防活動支援事業

一昨年から、行政区単位で介護予防活動

(通いの場「元気がーい」)を開催している。

現在は町内27行政区のうち13区で開催している。

町では立ち上げの補助を行っており、運営費の補助はしていない。

立ち上げ後は町社協が支援している。

総合事業を実施したことによる効果

- ・ 見守りを兼ねるなど地域との繋がりが見えてきている。
- ・ 客観的データは出していないが、利用者本人の主観的健康感は向上している。
- ・ 運営は医療生協組合員のボランティアスタッフが行っており平均年齢が70歳台であるが、支え手として元気に活動している。

福島県小野町

おわり